

「事業名：飯館村における地域共創人材育成教育研究プログラム」

東京大学(連携:明治大学、福島大学) 連携市町村:飯館村

現地拠点:福島県相馬郡飯館村佐須滑87(認定NPO法人ふくしま再生の会事務所) / 関沢字野沢48(みぞらぼ関沢事務所)

事業のポイント

復興には若者が地域に関わる中で生まれる「ワクワク感」が鍵となる。本事業では復興農学を基盤に、飯館村をフィールドとしたスマート農業と地域課題解決を統合した教育研究プログラムを実施する。そして、学生の起業や関係人口化を通じて、従来の就職依存型ではない新たな人材定着モデルを構築し、地域の持続的発展に資する人材供給システムを創出する。

人材育成・定着計画及び目標

【人材育成】農を中心とした生活の復興と復興知の共創と発信および次世代継承を担う地域関与人材の育成

【定着計画】①学生の起業、②副業・兼業、③村内外の新規人材の関わり代の拡大、④関係人口としての継続的関与

【目標】就職に依存しない新たな人材の地域定着モデル構築

2026年度の活動内容

(1) 研究プログラム

復興農学を基盤とした飯館村スマート農業エコシステムの構築

▶ 里山部の再生と未利用資源の活用を目的として、リジェネラティブ農業、土壌環境改善、通信基盤整備、IoT・ロボット技術を活用したスマート農業の実証研究

(2) 教育プログラム

将来世代に対する地域共創人材育成および持続的地域関与

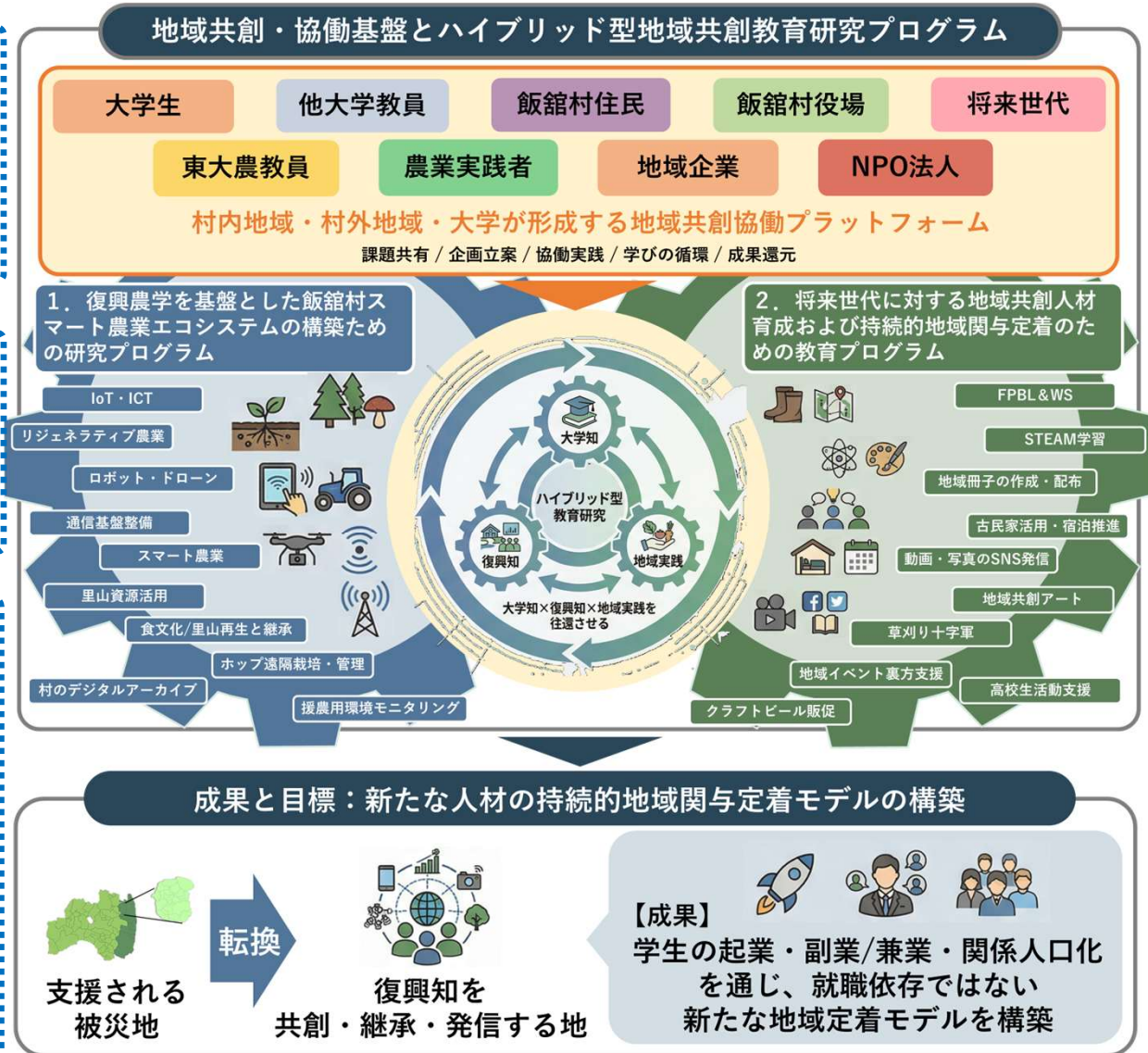
▶ 現地フィールドワーク、宿泊型実習、ワークショップを通じて、農業実践者・地域住民との協働によるFPBL教育

▶ ホップ栽培、草刈り支援、食文化継承、祭礼支援・地域運営、農×デザイン共創等の活動を通じて、実践・対話・記録・発信の反復する教育モデル構築

取組によって得られる成果

- ①復興農学に基づくスマート農業の実装と研究成果の発信
- ③将来世代と地域住民の協働による共創的な学びの実現

- ②復興知の記録・可視化・アーカイブ化と次世代への継承
- ④学生起業や関係人口化による新たな人材定着モデルの構築



成果と目標：新たな人材の持続的地域関与定着モデルの構築

